当局発表

韓国農林畜産食品部プレスリリース　2019 年 11 月 27 日付
以下、機械翻訳などによる仮訳

江原道鉄原郡遠南面と京畿道坡州市郡内面・津東面のイノシシ弊死体から ASF ウイルス検出（野生いのしし 27-29 例目）

http://www.mafra.go.kr/mafra/293/subview.do?enc=Zm5jdDF8QEB8JTJGYmJzJTJGbWFmcmElMkY2OCUyRjMyMjEzMSUyRmFydGNsVmlldy5kbyUzRmJic0NsU2VxJTNEJTI2cmdzRW5kZGVTdHIlM0QlMjZiYnNPcGVuV3JkU2VxJTNEJTI2cmdzQmduZGVTdHIlM0QlMjZwYXNzd29yZCUzRCUyNnNyY2hDb2x1bW4lM0QlMjZyb3clM0QxMCUyNmlzVmlld01pbmUlM0RmYWxzZSUyNnBhZ2UlM0QxJTI2c3JjaFdyZCUzRCUyNg%3D%3D

【本文】

□環境部所属国立環境科学院(院長チャン･ユンソク)は 11 月 27 日江原道（カンウォンド）、鉄原郡（チョルウォングン）、遠南面（ウォンナムミョン）と京畿道（キョンギド）坡州（パジュ）市郡内面（クンネミョン）および津東面（チンドンミョン）民間制限線内で発見された 3 体の野生いのしし弊死体から ASF ウイルスが検出されたと明らかにした。

○今回検出された野生いのしし弊死体は感染・危険地域を遮断している 2 次フェンス内で官軍合同弊死体捜索* 過程で発見された。

-鉄原（チョルウォン）の弊死体 1 体は 11 月 26 日午前 11 時 30 分頃遠南面（ウォンナムミョン）で発見

-坡州（パジュ）の弊死体 2 体は 11 月 25 日午後 3 時 40 分頃坡州市（パジュシ）、郡内面（クンネミョン）と 11 月 26 日午前 11 時 30 分頃坡州市（パジュシ）、津東面（チンドンミョン）で発見

* 環境部所属専門担当者と軍で合同捜索チームを構成、ASF 陽性となる弊死体が発見される可能性が高い 2 次フェンス内を捜索中(11.25～11.29 の 5 日間)

○国立環境科学院は 11 月 27 日 ASF ウイルス陽性の確定診断を関係機関に通知した。 これで ASF 陽性事例は鉄原（チョルウォン）で 13 件、坡州（パジュ）で 8 件となり、全国的には 29 件に増えた。

□国立環境科学院生物安全研究チーム長は“11 月 29 日まで坡州（パジュ）・漣川（ヨンチョン）・鉄原（チョルウォン）地域 2 次フェンスの中で官軍合同捜索が進行していて今後陽性個体検出件数はもっと増えるかもしれない”と話した。

（以上）